



東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成25年7月10日発行
発行責任者 安次峰暁
編集責任者 別処尚志
E-mail:satoru_ajimine@hotmail.co.jp
http://homepage2.nifty.com/35292/

会の告知板

- | | | | |
|----------|-----------------------|-------|----------|
| 7月27日(土) | カラオケを楽しむ会 | 18:00 | オンチッチ |
| 8月4日(日) | 平成25年度第2回役員会 | 16:00 | 生涯学習センター |
| 9月29日(日) | ウォーキングを楽しむ会「トトロの森一号地」 | 09:00 | 東久留米駅集合 |

事務局より10月以降で決定している行事予定をご案内させていただきます

- | | | | |
|---------------|-------------|------------|----------|
| 10月14日(祝) | 講演会/秋の旨いもの会 | 講演:伊佐九三四郎氏 | 成美教育文化会館 |
| 平成26年1月26日(日) | 東久留米稲門会新年会 | | 成美教育文化会館 |
| 平成26年4月20日(日) | 平成26年度定期総会 | | 成美教育文化会館 |

※詳細は開催時期が近づきましたら、ご案内いたします。

[大学・校友関係]

- | | | |
|---------|-----------|----------------|
| 7月6日(土) | 早稲田大学商議員会 | 安次峰会長、菱山、平山、出席 |
|---------|-----------|----------------|

新役員紹介

今年度から新体制となる中、新たに幹事となって頂いた5名の方に自己紹介をさせていただきます。
今後のご活躍を期待いたします。(50音順/敬称略)

Dear

菊池伸明

今回はからずも東久留米稲門会幹事の一員に加えていただいた菊池です。私は昭和46年に卒業し、外資系企業に30年勤務。その後監査法人系コンサルティング会社に転籍、数年後、個人事務所を設立。2009年還暦を機にビジネスライフを卒業しました。趣味は、現役時代はゴルフ、今はデジカメ散歩・花いじりそして韓流ドラマの鑑賞です。10年ほど前から旅行の記録を中心にしたブログの作成を開始。ブログ「井季报亭(ドンキホーテ)の四方山話」を2003年に開設し、2007年から一般公開しています。

東久留米稲門会発足の頃は、私はまだ現役でもあり、時間に追われていました。その頃、会の運営に当たっておられた諸先輩に、「現役はまだ忙しいから、そのうちに時間が出来たらいいよ。」とお願いいただきました。それがついこの間のように思えるのですがあれから15年経ち、今後は時間の許す限り、会の運営をお手伝いしていく所存です。力不足ですが、会のますますの発展のため少しでもお役に立てればと思っています。どうかよろしく願いいたします。

後藤秀作

この度、新しく役員になりました後藤秀作です、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、昭和24年12月に杉並区に生まれ、地元の小学校、中学校、高等学校で学び、昭和47年に教育学部を卒業し、社会人になり、家庭を持ち33歳まで暮らしておりました。早いもので東久留米で暮らして、もう30年余、人生の半分近くを過ごしてまいりました。その間に2人の子供も巣立ちをし、私の住んでいる南町3丁目付近も畑から住居の立ち並ぶ風景に様変わりをいたしております。まずは東稲ニュースを迅速に、正確に配布することからはじめ、少しでも東久留米稲門会のお役に立てればと考えております、今後のご指導・ご鞭撻を宜しくお願いします。

小牧完次

このたび、東久留米稲門会の役員を任命されました。今後、稲門会の一層の発展のために魅力づくりに貢献するよう努力したいと思います。来年は東久留米稲門会の 20 周年記念事業を迎えます。校友会のメンバーと協力してますます発展していく稲門会を魅力ある団体にしていきたいと思います！

船津高志

本年度より幹事を務めることになりました。私は、理工学部物理学科を昭和57年に卒業し、博士課程を終えた後に幾つかの機関で研究を行い、平成9年に同学科の助教授として赴任しました。その時に東久留米市に転居し、直ちに東久留米稲門会に入会しましたが、仕事に追われて総会等にも参加できませんでした。平成16年に東京大学薬学部教授として移動し、早稲田大学を学生、教員、他校の立場から見つめる機会を得ました。早稲田大学で学べたことを改めて幸福に思うこのごろです。まだ現役で働いていますので時間的な余裕はありませんが、微力ながら東久留米稲門会のお役に立ちたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

村上万里

今年度より、皆様に、楽しく、有意義に、稲門会活動をしていただくためのお手伝いをさせていただきます村上万里(むらかみばんり)です。どうぞ、「ばんちゃん」と呼んでください。私は、昭和60年に教育学部を卒業し、以来、産経新聞にて広告営業、企画畑を歩んで来ておりましたが、4年前、独立をし、現在、アゴラというマーケティング会社を営んでいるバリバリの現役です。趣味は、毎週末家族のために腕を振るう料理、魅惑の高音域を誇る(笑)カラオケ、このところとんとご無沙汰の下手の横好きのゴルフ、最近ではほぼ観るだけになってしまったラグビー・サッカー・野球、そして唯一の週末スポーツのウォーキングです。どうぞよろしくお願ひいたします。

【会の報告】

○役員会報告

平成25年度第一回役員会が6月2日16:00より生涯学習センターで開催された。

議事録概要

1. 平成25年度役員会開催要領：偶数月第一日曜日午後4時より1時間半程度。
2. 平成25年度主要行事：定時総会、新年会、秋の旨いものを例年通り開催。
3. 20周年記念事業：記念事業の目的を明確にした上で取り組む事を決定。また渡辺副会長を実行委員長に選任。
4. 平成25年度会員・名簿作成：会員数165名、新規会員の勧誘を9月に50～60代の校友を対象に実施予定、名簿は7月7日作成。
5. 次回役員会：8月4日16:00～生涯学習センター。

【部会報告】

<第43回ウォーキング「小江戸 川越」>

稲門会ウォーキングに参加する人のなかに変な雨男がいるようだ。3月31日に行うはずだった「小江戸・川越ウォーキング」は2度も雨に流され、やっと今日(5月26日)の本番を迎えた。参加者は10名で、男性6名、女性4名だった。10時頃本川越駅に降り立ち、森田さんの先導で歩き始めた。まず中院を訪ねた。訪れる人が少なく、新緑に覆われた境内は静かな佇まいをみせていた。それから仙波東照宮を訪れた。久能山東照宮と日光東照宮と並んで3大東照宮と称されるそうだが、上野や芝の東照宮より規模も造りも貧弱だった。地続きの通路を通って喜多院に出た。江戸城から移築された家光誕生の間と春日局の居住の間を見学したが、江戸幕府草創期の建物らしく造りは簡素だった。廊下に置か



川越ウォーキング 氷川神社

れた女駕籠は意外に小振りだった。当時の女性は今よりだいぶ小さかったようだ。大きな長持ちも置いてあった。これは予想以上に大きかった。これなら非常時に奥方様やお姫様を乗せて脱出するのは可能だ。境内に五百羅漢像があった。ずらりと並んだ石像はどれを見ても表情が違っていた。次に訪れた川越本丸御殿は幕藩体制が確立した時代に建てられたお城だけに、規模も大きく造りも豪壮だった。川越祭で有名な氷川神社を訪れてから蔵通りに出て、菓子屋横丁に入った。人ごみのなか立ち並ぶ駄菓子屋を見て回ってから養寿院を訪ねた。ここには義経の正妻となった川越局の父親川越重頼の墓があった。義経没後川越局は自決、重頼は頼朝に謀殺された。政略結婚の末の悲劇だった。再び蔵通りの街に戻って蔵造りの家々が立ち並ぶ街中を歩き、時の鐘を見上げたところで、小江戸・川越散策は終わった。ぶらぶらと歩いて本川越駅に戻り東久留米駅に直行し、居酒屋で打ち上げを行った。参加者は男性4名、女性4名だった。

(帆角信美記)

<東京六大学野球 早慶戦観戦会>

6月1日(土)曇り空の下、東京六大学野球ファン3名が神宮球場の一般内野席で春季早慶戦第1戦を観戦した。今季の早慶戦は慶大4位、早大5位での戦いで4位争いの低レベルの早慶戦となった。球場入口8番ゲートに着いた時は球場内の観客は少ないだろうと予想したが、中に入って観客の多さに驚いた。試合開始1時間前なのに一塁側一般内野席は満席に近い状況で、我々3名は最上段に近い席に陣取った。さすが伝統の一戦だと感じた。試合開始13時には観客席の8、9割が埋まり早慶戦独特の華やいだ雰囲気が球場全体を埋めつくした。

試合は初回到4番小野田のスリーランホームランで早大が先攻し、そのまま優位に進み8:4で早大が快勝した。得点が入るたびに「紺碧の空」の歌声が球場内に響き渡り、気分良く観戦する事ができた。試合終了後、早慶両校の校歌・エールの交換の余韻を感じながら神宮球場を後にし、東久留米に戻って2名加わり5名で勝利の祝杯をあげた。秋の早慶戦には、ぜひ多くの方の参加を期待しています。

(森田隆記)

<ゴルフ部会 三田会との対抗戦>

梅雨入りして間もない6月7日(金)、熊谷ゴルフクラブに稲門会・三田会の名プレイヤー20名が集いました。心配された雨も落ちず無風の好コンディション。記念撮影を終えてスタート時刻の8時となり、みどり鮮やかなフェアウェイへ向けて白球が次々と放たれていきました。



WKゴルフ会個人戦初優勝 平山前会長のナイスショット！

私は昨年入会させていただき、今回で3回目のコンペ参加です。緊張もそろそろほけてきて良いのですが、そこは学生時代のサークル活動以来、三十数年ぶりにのぞむ早慶戦。自分の腕前も忘れて、内心では勝利を意識せずにはられません。しかしそう都合よくことは運ばず、バンカーと木立に行方をはばまれるいつものゴルフでした。残念ながらお役には立てませんでしたが、先輩方のご活躍で稲門会が勝利。表彰式が催された西口・鮮乃庄では勝利の美酒を味わうことができました。しかし何よりも、地元での交友が希薄になりがちな現役サラリーマンとしては、その輪も広がり、まことに有意義な一日でした。秋の次戦が今から楽しみです。 (宮井 威記)

<旅行同好会> 「第3回 秘湯鎌田温泉に泊まる旅」

東久留米稲門会の第3回旅行会は秘湯鎌田温泉に泊まり、照葉峡・吹き割の滝・丸沼高原・奥日光を訪ねるバスの旅となった。参加者は女性3名を含む総勢17名で、6月16日(日)午前8時の出発に合わせて全員集合。小雨の中予定通り午前8時出発となった。

出発と同時にバスの後方のサロンではビールとつまみで楽しい会話が始まる。これがバスの旅の醍醐味である。水上インターで高速道を降りて、みなかみ道の駅で休憩した時には雨はすでに上がっていた。日本一の大露天風呂という宝川温泉の入り口だけを見た。1,500円で入れるということで温泉に入るだけの客が車で来ていたが、我々は時間の関係で温泉には入らなかった。丁度12時、昼食をする水上高原ホテルに到着。このホテルにはゴルフ場が併設されていて、日曜日ということもあってゴルフ客も結構いた。化粧室ではゴルフ客たちが午前の成績について悔しがったり、喜んだりしていたが、ゴルフ場の食堂でゴルフの成績を気にしないで食事することの気楽な事よ。

昼食後は関東の奥入瀬と銘打っている照葉峡の溪谷美をバスから堪能し、水原秋櫻子の名付けたという「ひぐらしの滝」を見て、その後丸沼高原



標高2000mで全員で記念写真

からロープウェイで標高2000Mの山頂まで登った。本来ならここから関東以北の最高峰である日光白根が見える筈であったが、天気予報に反して雨に降られないという幸運もそこまではなかった。山頂には「天空の足湯」があり、何人かは足を湯に浸し疲れを取っていた。標高2000Mを示す標をバックに全員で記念写真となった。また、ここはシラネアオイ、チングルマ、コマクサ、の高山植物が見られ、シラネアオイは群生していた。その後、バスは一路本日の宿泊地鎌田温泉へと向かった。本日宿泊の鎌田温泉梅田屋旅館は大正ロマンを感じさせる宿で、水芭蕉の湯と銘打っている温泉は弱アルカリ性の無色透明なお湯で美人効果があると言われている。梅田屋旅館は一時代前は尾瀬登山の玄関口として知られていたようであるが、今では沼田街道に沿ってひっそり建っている温泉宿である。緑に囲まれた露天風呂も雰囲気があり、評判も良かった。夕食はヤマメのお造り、ヒメマスの燻製、山菜の天ぷらなど山国らしい郷土色あふれた料理で我々をもてなしてくれた。



吹き割の滝

二日目は前日の天気予報に反して朝から青空であった。8時30分に宿の女将を始め皆さんに手を振って見送られながらの出発である。最初に行ったところは今回の旅行の目的の一つである「吹き割の滝」である。この滝は写真ではその見事さが想像が出来ないし、見ればなるほどと分かる滝である。東洋のナイアガラと言っているが、それはちょっとという滝であった。次の滝は湯滝である。水量も多く堂々と落ちていた。湯滝から少し溪谷を歩いた。釣をしている人がいた。新緑が素晴らしかった。本日の昼食は中禅寺湖金谷ホテルのダイニングである。メニューがポークとニジマスがあり、事前に数を知らせておくということで皆それぞれ好きなものを注文した。木造の落ち着いた造りのホテルであった。食事の後には今回の旅の最後の目的である華厳の滝である。二十年以上前に来て以来であったが、今回は水量も多く、日本三名瀑というにふさわしい滝であった。ここが最後ということで皆お土産を買うのに時間を使った。二日目は滝見の旅となったが、三滝ともそれぞれに素晴らしく堪能させてくれた。



華厳の滝

その後は、一路東久留米へとバスを走らせ予定通り午後5時東久留米市役所前に到着して、無事今回の旅を終えた。今回の旅行は梅雨の最中にも拘わらず予報に反して雨にも降られず、まずまずの天候であった。参加者の皆さんの日頃の心掛けの良かった賜物と旅行の計画者として感謝する次第です。

(井坂宏記)

<俳句部会>

5月19日(日) 第155回句会 於：市中央図書館 2F集会室(小)

兼題：「母の日」 「夏に入る」 当季自由題

笥や故郷の新聞連れて着く	棚野 愛子
母の日や花屋の開店待つ少女	比護喜一郎
母の日や妣の矜持の古鏡	神田 尚計
母の日や妣の遺せし糠の床	棚野 愛子
黙しゆく兵馬の幻麦の秋	杉本 達夫
片陰に入りて二人の歩巾合う	神田 尚計
夏に入る水の滴る箆干して	棚野 愛子

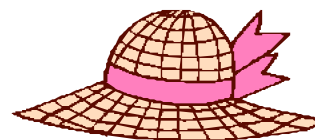


※3点句以上

6月16日(日) 第156回句会 於：市中央図書館 2F集会室(小)

兼題：「鮎」 「夏帽子」 当季自由題

せせらぎのほど良きリズム鮎の宿	河村 洋子
夏帽子木立の中の美術館	神田 尚計
清流の瀬音を添へて鮎料理	神田 尚計
釣りをする親子揃ひの夏帽子	川俣 栄一
細皿に貴婦人のごと鮎ひとつ	川島 知子
王宮に残る奢りや赤薔薇	河村 洋子
壱岐対馬初めて渡る夏帽子	橘 優治
ウインドに見入る少女の夏帽子	棚野 愛子



※3点句以上

※前号掲載の句に間違いがありましたので、お詫びし訂正いたします。

【正】卒業を待たず征きたる学徒たち 杉本 達夫

【誤】卒業を待たずに征きたる学徒たち

(橘優治記)

部会だより



<カラオケ部会より>

7月27日(土)18:00~3時間「カラオケを楽しむ会」を東久留米駅北口徒歩10秒の「オンチッチ」にて開催いたしますので、奮ってのご参加をお待ちしております。

参加費 4,000円 (簡単なつまみ+飲み放題)

お申し込みは高柳まで。

電話・Fax042-473-3559 携帯 090-8741-8424

7月20日までにお問い合わせいたします

<俳句部会より>

今後の句会予定 7月21日(日) 13:30~ 男女平等推進センター

8月18日(日) 13:30~ 生涯学習センター (まろにえホール)

皆様の参加をお待ちしております。

東稲広報室

○過去の後援会小冊子、以下の方々の分が残っています。ご希望の方に差し上げますので、河村役員までご一報ください。

★日比野弘氏「ラグビーに学ぶリーダーシップとチームワーク」、

★瀬古利彦氏「心で走れ」、

★マースクス寿子氏「21世紀を迎えるにあたっていまイギリスから学ぶこと」

○稲門祭記念品購入

おかげさまで、44名の方に購入頂くことが出来、金額は136,000円になりました。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。記念品は6月中にお渡し済です。

○平成25年度ポストマン区割について

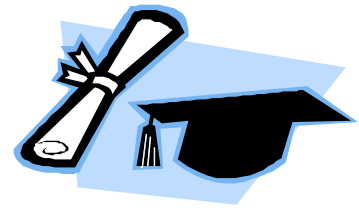
本年度会員用ポストマン区割表を以下のように連絡いたします。今般ポストマンを退任された鮎貝さん、比護さん、西村さん、竹山さんに、これまでポストマンを通じて稲門会活動に多大な尽力をいただいたことに対して厚くお礼を申し上げます。また今後ともご支援宜しくお願いします。併せて継続・新規ポストマンの方についても宜しくお願いします。



担当者(敬称略)	地区名			
塚越 崇	上の原 1	金山町 1	金山町 2	
清水政弘	神宝町 1	神宝町 2		
渡辺真司	氷川台 1	氷川台 2		
小野泰右	大門町 1	大門町 2	新川町 1	東本町
福田 稔	浅間町 1	浅間町 2	浅間町 3	
別处尚志	学園町 1	ひばりが丘	南沢 1	南沢 2
小山田朋樹	南沢 3	南沢 4	南沢 5	
後藤秀作	南町 1	南町 3	南町 4	滝山 2
河村洋子	前沢 1	前沢 3		
村野建彦	前沢 4	前沢 5		
藍原昌義	滝山 3	滝山 4	弥生 1	
船津高志	滝山 5	柳窪 1		
石寺美弥子	滝山 6			
伊東 毅	野火止 2	野火止 3	八幡町 1	下里 1
	下里 7	幸町 4		
東海俊孝	幸町 1	幸町 3	幸町 5	
村上雅敏	小山 1	小山 2	小山 3	小山 5
小牧完次	本町 1	本町 2	本町 3	本町 4
森田 隆	中央町 1	中央町 2	中央町 4	中央町 6
高橋哲男	中央町 5	八幡町 2	八幡町 3	下里 2

私の早稲田時代 ー教員を目指してー

石寺美弥子



某女子大を卒業したのがオイルショック後の低成長期の真只中の昭和51年。この頃から学生は倒産の無い勤め先を求めて、公務員志向になっていきました。そんな中、教員志望の私は公立高校の教員採用試験を受けたわけですが、ものすごい競争率で、あっけなく不合格となり民間企業採用試験を全く考えていなかったのも、途方に暮れてしまいました。ぷー太郎女版になってしまいます。当時、自信があったのは英語だけで、一般常識等には疎い私、かと言って専門の西洋史を深く理解している訳でもなく、企業も大学院も受かりそうにない。そんな中、早稲田の第一文学部の学士入学の試験は英語だけであるという情報が入り受験いたしました。試験はこのほか難しく、試験の後の面接で入学したら必ず一所懸命勉強しますと誓わせていただき、何とか入学させていただきました。この時に面接して下さったのが、我が東久留米稲門会の会員で早稲田大学名誉教授でいらっしゃる柴田卓弘先生でした。

入学して授業に出席しても、誰も知った人はなく一日中誰とも口をきかないで帰る日が続きました。そんな中、クラスメイトがついに私に話しかけてくれました。「早稲田奉仕園に集まって研究会をしているから、仲間に入りませんか？」というお誘い。皆さん理想に燃えて世の中の矛盾を解決して、より良い社会にするにはどうしたらよいかと情熱的に議論していました。私は右も左も分かっていたのですが、チョウチョウハッシの議論についていけず、黙って聞いている状態で、石寺さんは何を考えているのか分からない等といわれていました。そして皆さんは教員になって世の中をよくしたいと思っていることが分かってきました。私も教員志望でしたので、やっと4年生になって皆さんと議論するようになりました。

やがてやってくる教育実習、皆理想に燃えて授業に取り組んで生き活きと生気に溢れて大学に帰ってきました。各々が自分の理想の教師像を語り教育とはと語り合いました。仲間の中で4,5人が教員になりました。私も含めて2,3人が大学院に進みました。私は進学しても中等教育の教員志望は変わりませんでした。院生の最中に某私立高校の非常勤講師の職を得て、楽しい教員生活が始まりました。私は若人が大好きで勉強も大好きで、若人と一緒に勉強をする生活は毎日充実していて楽しくあつという間に30年近くが過ぎていきました。

今、後進に道を譲り、某大学で事務補助の身分で研究室の図書係として働いておりますが、若人と勉強を一緒にしたいという思いは捨て難く、家庭教師を始めました。やはり、私は子供たちと一緒に勉強しているのが一番楽しいです。家庭教師になり、又、楽しい生活が始まり幸せになりました。一学期の期末テストを目指して私も勉強です。頑張ります。

〈編集後記〉

安次峰新会長以下の新役員体制による第一回役員会も終わり、会の活動は順調に推移しているようだ。来年は東久留米稲門会が発足して20年目に当たる。20周年を寿ぐ事業を行うことが決まり、渡辺副会長を中心として取り組みが開始した。是非成功させたいものである。この原稿を印刷するのは7月7日、七夕の日である。短冊に願いを書く風習を思い出し、短冊ならぬ編集後記欄に願いを書いた次第。

